

## 令和4年度「熊本大学病院教育支援事業」使用実績報告書

使用者 (代表者)	氏名	所属	職名
	宮本 裕士	消化器外科	准教授
グループ全員 *記入欄が不足する場合は、 別紙に記入	小澄 敬祐		
	堀野 大智		
	宮田 辰徳		
	森戸 淳		
申請事項及び 申請内容	学生および臨床研修医を対象とした腹腔鏡下手術トレーニング環境整備および学生講義におけるアンサーパッド導入		
助成金額	999,700 円	助成金使用総額	999,700 円
使用内訳			
消耗品 258,465 円 (内訳) 縫合針、縫合シート 旅費 0 円 (内訳) その他 741,235 円 (内訳) iPad Pro + Apple Pencil (4台) 医師国家試験問題等の書籍			
成果(※具体的な効果および自己評価も含め1,000字程度) 1. 縫合針、縫合シート、鉗子 当科のポリクリ、クリクラの学生カリキュラムにおいて、腹腔鏡下手技実習が組まれており、ポリクリでは必ず1-2時間程度本実習を行い、クリクラでは希望に応じていつでもトレーニングを行うことができる環境にある。一方で、いくつかの鉗子は故障(把持できない、鉗子が回転しない、切れない等)しているものもあり、新しく購入させていただいた鉗子により、より精緻な手技を学習することができ、本当の手術の器具と同等のレベルでの学習ができた。縫合シート・縫合針により、いい意味で節約しない中での実習ができた。学生の実習後のコメントの中にも、腹腔鏡実習の印象や感想を述べる学生も多く、その貢献度は高かったと考える。加えて、初期研修医も継続的な手技の練習を行うことができた。以上より、より快適な環境で手術手技を学ぶことができた。			
2. iPad Pro + Apple Pencil 学生・研修医の理解度をタイムリーに把握することにより、より充実した研修が可能になる。iPad Pro + Apple Pencilを活用することにより、手術のスケッチ、特に切除範囲や再建の絵を教官が記載する、あるいは記載してもらうことにより、その都度学生の理解度の達成状況を把握することができ、その達成状況に応じた指導が可能となった。今後は公開されているガイドラインや購入した書籍を本iPadに加え、より活用頻度を増やすことを考えている。			
※①当初の申請内容 座学では一方通行の講義を避け、より講義内容を理解してもらうため、相互の密なコミュニケーションを取る必要がある。そのために、アンサーパッドを用いることにより、講義への集中力の維持、講義への能動的参加、講義内容の理解度をリアルタイムに把握することにより、より活発な講義が実施可能と考える。教官側もアンサーパッドの集計結果を参考に、講義への理解度をリアルタイムに確認しながら進めることができ、双方に有用と考える。			

## ②iPad Pro へ購入物品を変更した理由

- ・手術時の絵を書くことでの学生への手術内容の詳細な説明が可能
- ・ガイドラインや国試問題を取り込むこみ、記載を行う形式での解答や解説の実施
- ・腹腔鏡トレーニング時の動画を取り、その動画に具体的な運針や把持する位置を支持することで即座にフィードバックすることができる
- ・「相互の密なコミュニケーション」「講義への集中力の維持、講義への能動的参加、講義内容の理解度をリアルタイムに把握すること」には貢献でき、「活発な講義」「講義への理解度」の向上につながると考え、一部申請内容を変更の上、事業を遂行した。

## 3. 医師国家試験問題等の書籍

最新の書籍を用いた学習を行うことにより、最新のエビデンスに基づいた知識を体得することができた。特に国家試験問題集は学生への国試対策への準備をしてもらうために必要不可欠と考えており、熊本大学の国試合格率を高めるためには継続的な早め早めの対策が必要なことを鑑みても、重要な購入であったと考える。